

予算費目	令和4年度 予算額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	増減 (千円)	主な増減要因(ご説明)
図書館協議会経費	184	184	0	令和4年度においても、例年通りの協議会開催を予定しており、増減ございません。
一般事務費	64,681	59,357	5,324	窓口等委託業務については、令和4年度からの3年間の委託期間更新時期にあたります。今回の委託業務更新(本館分)に当たっては、従来の業務に加え、土曜日カウンター業務及び書庫返本業務を追加しているため、増額となっているものです。 なお、令和3年度までは、土曜日カウンター業務及び書庫返本業務は、市職員の直営で実施しております。その他経費につきましても、今年度1台増設いたしました図書消毒器の消耗品費や書籍修理費用等を増額しているため、少し増加しております。
維持管理費	36,252	32,885	3,367	光熱水費に関しまして、燃料代の高騰等による調整の関係から少し増加しております。 その他経費につきましても、アルコール消毒用機器など新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる費用及び雨漏り補修等施設補修にかかる費用等のため、増加しております。
運営費	29,555	30,942	△ 1,387	図書費(紙の本)や雑誌、新聞等の費用については増減ございません。 電子図書館に係る経費につきましては、令和3年度に導入作業にかかる費用がございました関係から、令和4年度は少し減額となっております。電子図書館コンテンツ(電子の本や雑誌)につきましては、令和4年度以降も少しずつ増やしてまいります。 その他経費につきましては、ブックトラック等備品の老朽化に伴う一部更新のため、すこし増加となっております。
打出分室運営経費	10,220	8,988	1,232	打出分室に関しまして、委託業務更新(打出分室部分)の影響から増額となっております。打出分室につきましては、委託業務更新にあたっての大きな業務対加等変更はございませんが、前回契約時からの最低賃金額引き上げ等に伴う人件費の増加等社会情勢の変化による要因がございます。
大原分室運営経費	14,004	12,747	1,257	大原分室に関しまして、委託業務更新(大原分室部分)の影響から増額となっております。要因につきましても、打出分室部分と同様でございます。
図書館施設整備費	15,683	6,133	9,550	図書館施設の改良工事等を複数件予定しておりますので、増額となっております。 主なところでは、本館敷地内のインターロッキングについて、特に凸凹が激しくなっております東側を中心に改修工事を予定しております。 また、本館東側エントランス自動扉の一部改修や本館1階多目的トイレの自動ドア設置工事等も予定しております。 その他新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、貸出カウンター等におけるアクリル板の設置、大原分室への図書消毒器の導入等もこの費目に含まれます。 なお、令和3年度予定されておりました打出分室の改修設計につきましては、打出教育文化センターの工事着手の遅れに伴い、令和3年度は実施せず、令和4年度にて実施予定となっております。
図書館IT環境整備費	1,686	0	1,686	令和4年度に新規に行う事業です。マイナンバーカードを図書館カードの代わりに使用できるようにするものですが、マイナンバーカードの個人情報部分を使用しないJPKIシリアル方式を採用し、ご利用者さま自身にカードを端末にかざしていただきますので、図書館職員がカードをお預かりすることはありません。 事業内容について詳しくは別紙資料1をご覧ください。 またご参考として、芦屋市のマイナンバーカード普及率は、全人口のうち50.90%(令和4年1月末)に交付済(県内10位)であり、申請をいただいている方々を合わせますと57.56%(同7位)となっております。詳しくは別紙資料2をご覧ください。